

# Nバス及びおでかけなんじいの利用状況について

令和4年2月

南 城 市



# 1 概況

- Nバス及びおでかけなんじいの利用者数は、新型コロナの影響により、8月までは300人程度で推移しています。
- 9月以降は、新型コロナウイルスの感染状況が改善され、またNバス利用券の配布もあり、徐々に利用者数が増加し、11月～12月のNバス及びおでかけなんじいの利用者数は約480人に達しています。

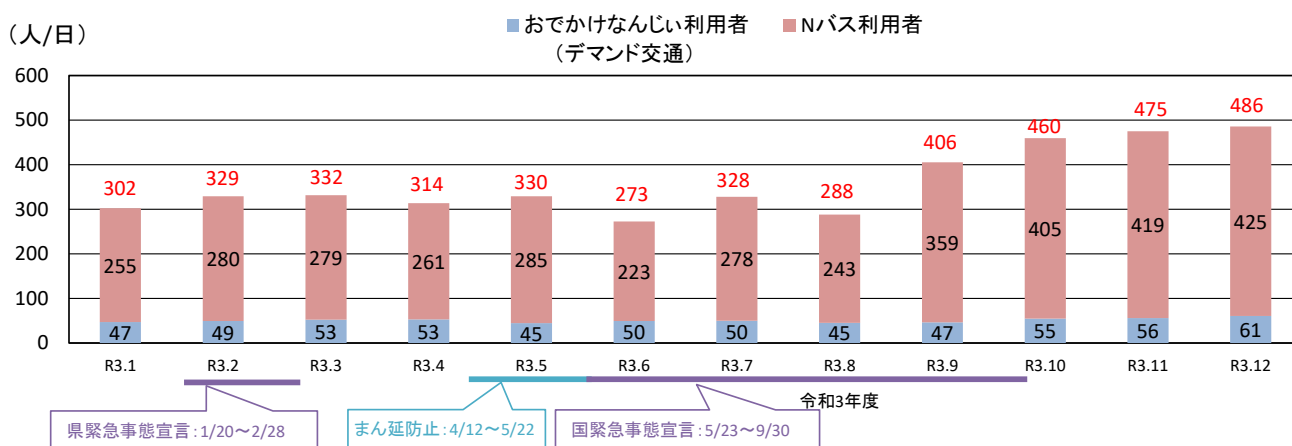


図-1.Nバス及びおでかけなんじいの利用状況の推移

## 2 Nバスの利用状況

### 2.1 Nバスの運行状況

●Nバスは、平日 15 系統、67 便、休日は 8 系統、54 便が運行されています。

表 1.Nバスの運行便数

系統名	平日	休日
A1：知念・佐敷一周線（右回り）	10 便	10 便
A2：知念・佐敷一周線（左回り）	11 便	11 便
A3：知念・佐敷一周線（右回り）つきしろ経由	1 便	—
B1：ニライカナイ橋・つきしろ線（右回り）	7 便	7 便
B2：ニライカナイ橋・つきしろ線（左回り）	6 便	6 便
C1：玉城・大里一周線（右回り）	10 便	10 便
C2：玉城・大里一周線（左回り）	8 便	8 便
D1：玉城東回り線	3 便	—
D2：玉城東回り線（向陽高校経由）	5 便	—
E：知念南回り線	1 便	1 便
F1：玉城西回り線	1 便	1 便
F2：玉城西回り線（玉城幼稚園経由）	1 便	—
F3：玉城一周線（玉泉洞経由）	1 便	—
G：向陽高校線（大里経由）	1 便	—
H：知念高校線（大里経由）	1 便	—
計	67 便	54 便

## 2.2 利用者数の推移

- Nバスの利用者数は、8月までは1日当たり300人以下でしたが、9月以降利用者数が増加し、12月には425人/日にまで達しています。
- Nバス利用券の配布もあり、9月以降は再編直後と同等の利用者数で推移しています。

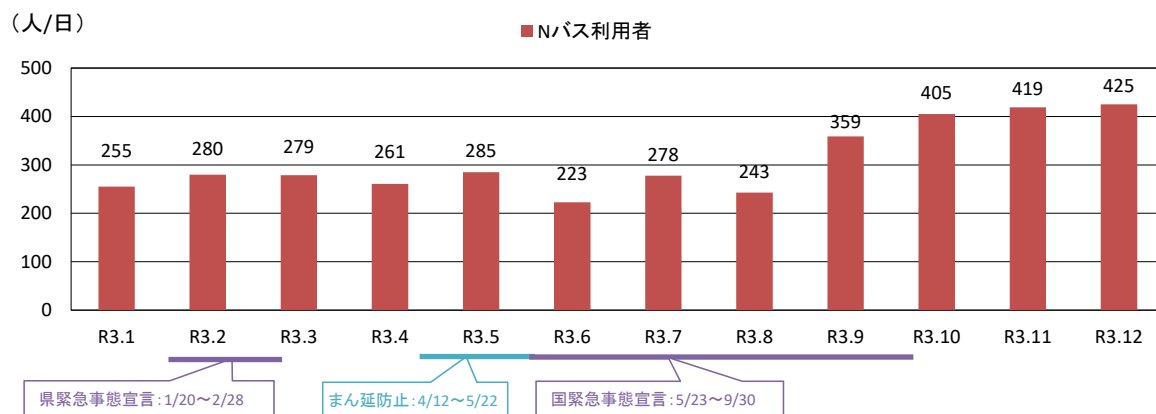


図-2.Nバスの利用者数の推移

### 2.3 券種別利用者数の推移

- 券種別の利用者数は、回数券利用が多く、大人と小学生の回数券利用が多くなっています。
- 8月までは利用者が少ないまま推移していましたが、9月以降Nバス利用券を回数券として配布したことから利用が増加し、特に、大人と小学生の回数券利用が大幅に増加しています。
- 一日乗車券は1～2月に多く利用されていましたが、4月中旬からのまん延防止措置、5月下旬からの緊急事態宣言、7月末からのNバス利用券の配布により、1日乗車券の販売枚数は非常に少ない状況で推移しています。

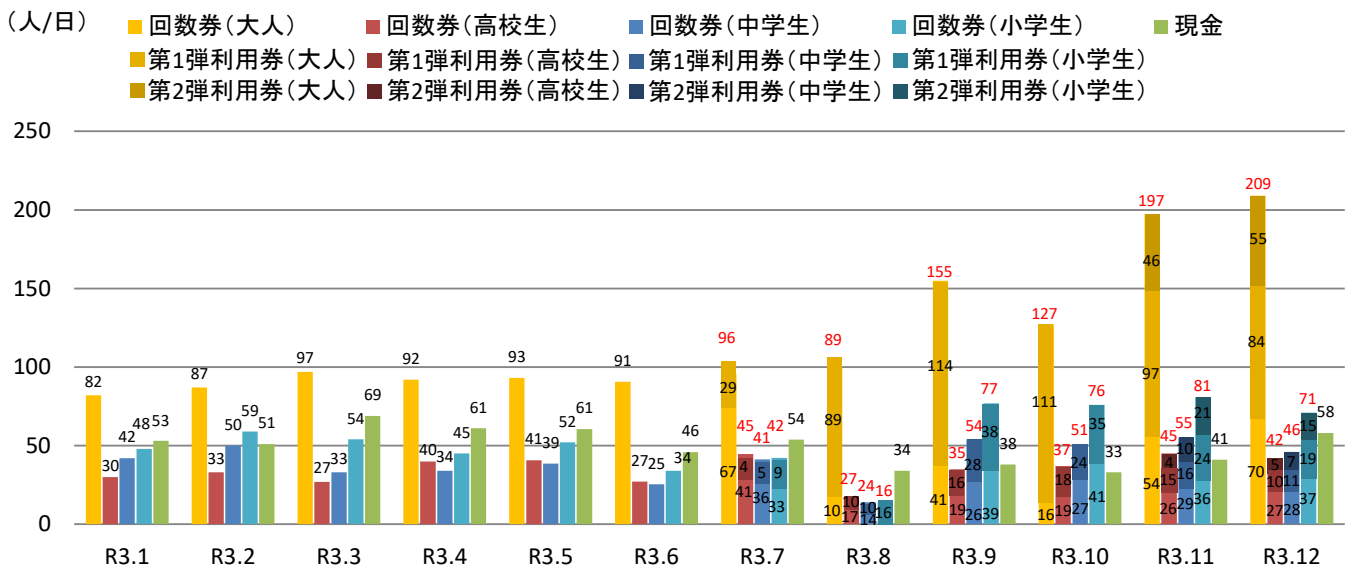


図-3.Nバスの券種別利用者数の推移

表 2.Nバスの1日乗車券の販売状況

	R3.1	R3.2	R3.3	R3.4	R3.5	R3.6	R3.7	R3.8	R3.9	R3.10	R3.11	R3.12	合計
一般	97	125	31	5	9	4	7	10	5	13	7	12	325
中高校生	1	4	1	2	2	0	0	2	0	2	0	0	14
小学生	10	32	0	2	3	0	4	1	0	4	0	0	56

## 2.4 曜日別利用者数の推移

- 曜日別の利用者数は、8月までの平日は250～370人前後、土曜日は150～220人、日祝日は110～190人が利用しています。
- 9月以降は、利用券を配布した影響で、全曜日で利用者が増加しており、平日は430～500人、土曜日は220～250人、日祝日は190～260人が利用しています。
- 特に、日祝日の利用者数の増加が目立っており、11月以降は土曜日の利用者数よりも多くなっています。

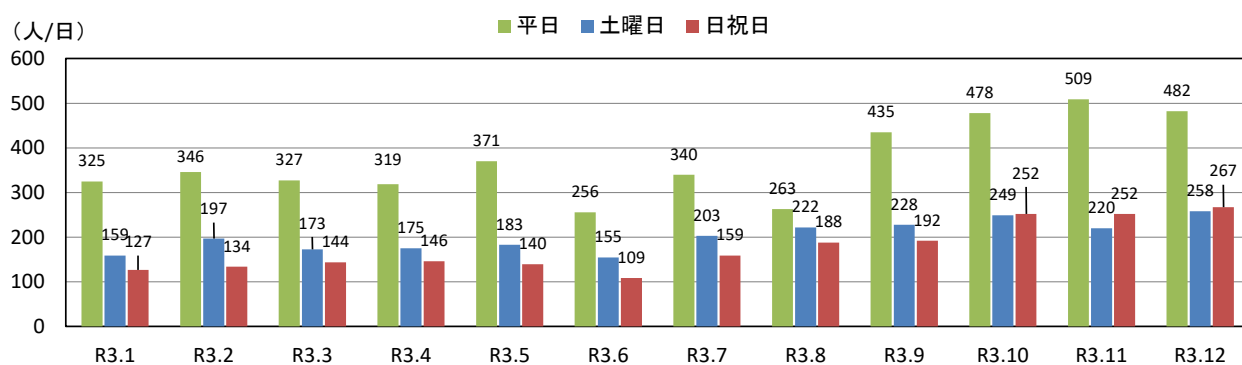


図-4.曜日別利用者数の推移

### 3 おでかけなんじいの運行・利用状況

#### 3.1 運行形態

- 令和元年10月の再編以降、おでかけなんじいの運行エリアは、Nバスが向陽高校に乗り入れたことにより、南城市内のみとなっています。
- また、運賃は75歳未満が500円、75歳以上が200円になっており、再編後は回数券が廃止されています。

表 3.現在の「おでかけなんじい」の運行形態

項目	内容	備考
名称	おでかけなんじい	
デマンドバスの運行範囲	久高島を除く南城市全域	再編前は向陽高校まで運行
利用対象	南城市を訪れる観光客及び南城市民 (年齢制限なし)	
利用料金	75歳未満は一人一律、1回500円 75歳以上は一人一律、1回200円 (未就学児は無料)	再編前は一人1回300円(未就学児無料)、回数券あり
運行形態	ドア to ドア方式の区域運行 (フルデマンド)	
運行曜日	平日・休日(土日祝)の毎日 ※12/31～1/3は除く	
運行時間帯・運行便数	●8～20時(8時台～19時台の1時間ごとに運行) ●平日9時台～18時台、土曜日の11～15時台は3台/時運行 ●その他の時間帯は2台/時運行	再編前は、土曜日16時台は3台/時で運行
運行車両台数	最大3台(5人乗り車両)	令和元年11月以前は10人乗り
利用方法	観光客は登録不要。南城市民は登録制で、利用したい便の30分前までに電話にて予約。ただし、8時台は前日までの予約が必要。	

表 4.「おでかけなんじい」の運行台数

曜日	時間帯												計
	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	
平日	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	34
土曜日	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
日祝日	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24





### 3.2 運行便数

●令和3年における月別の平均運行便数は、23～27 便/日と変動がみられます。

便/日

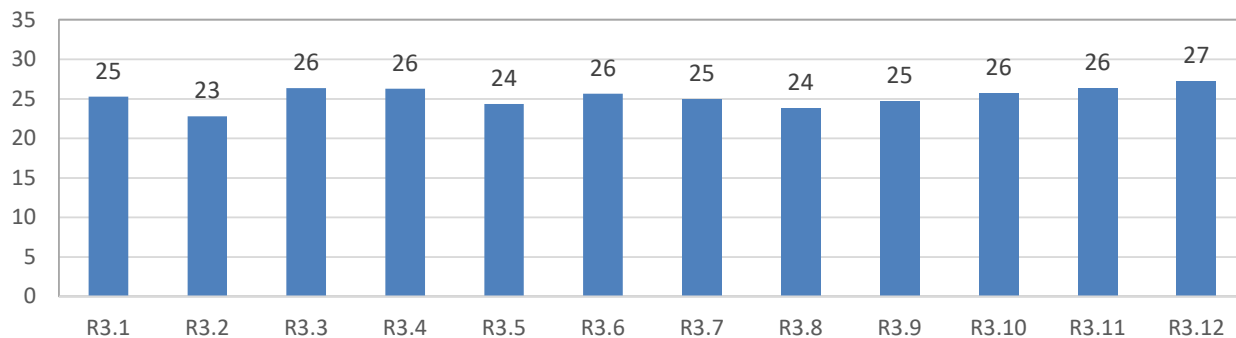


図-5.「おでかけなんじい」の運行便数の推移

### 3.3 利用者数

- 1日当たりの平均利用者数は、9月までは50人/日前後で変動しながら推移しています。
- 10月以降は増加傾向にあり、12月の利用者数は61人/日に達しています。

(人/日)

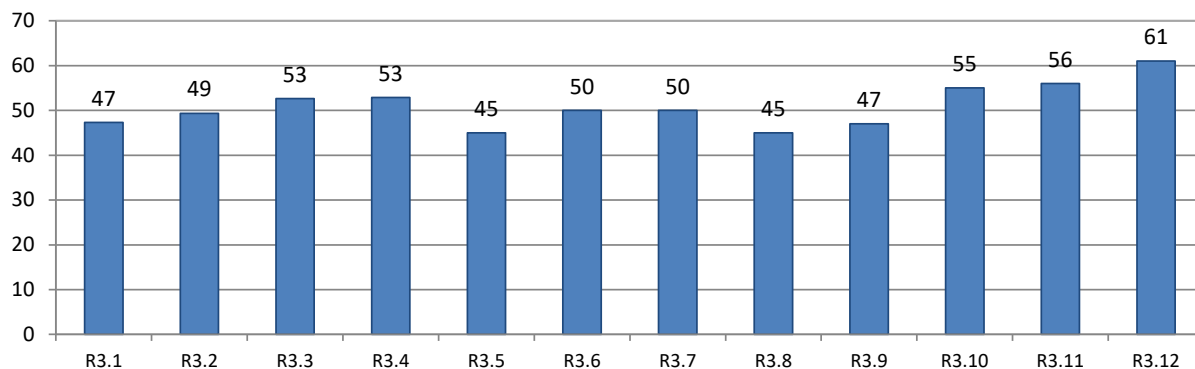


図-6.「おでかけなんじい」の利用者数の推移

### 3.4 曜日別の利用状況

- 曜日別の利用状況をみると、平日は53～65人/日、土曜日は29～44人/日、日祝日は23～41人/日と年間を通じて、変動が大きくなっています。
- 10月以降の利用数の増加が目立っており、特に、12月は土曜日、日祝日の利用者がどちらも40人/日を超えており、平日と休日の差が小さくなっています。

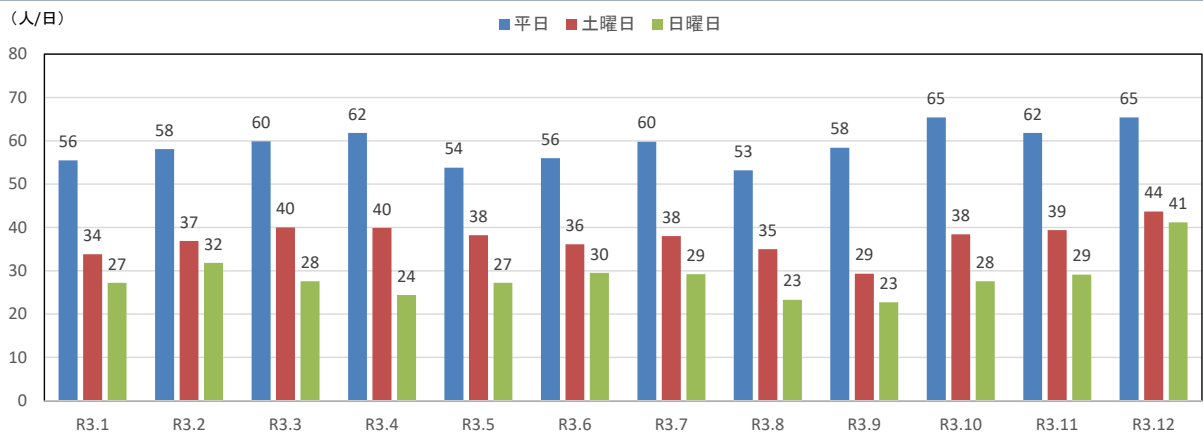


図-7.曜日別の「おでかけなんじい」の利用者数

### 3.5 曜日別時間帯別の利用状況(新型コロナウイルス流行第一波後)

- 曜日別時間帯別の利用状況は、平日、土曜日、日祝日のすべての時間帯で平均利用者数が3.0人/h以下と少なくなっています。
- 特に日祝日はすべての時間帯で2.0人/h以下となり、利用者の減少が目立ちます。
- また、8時台、18時台、19時台はどの曜日も利用者数が日中より大幅に少なくなっています。

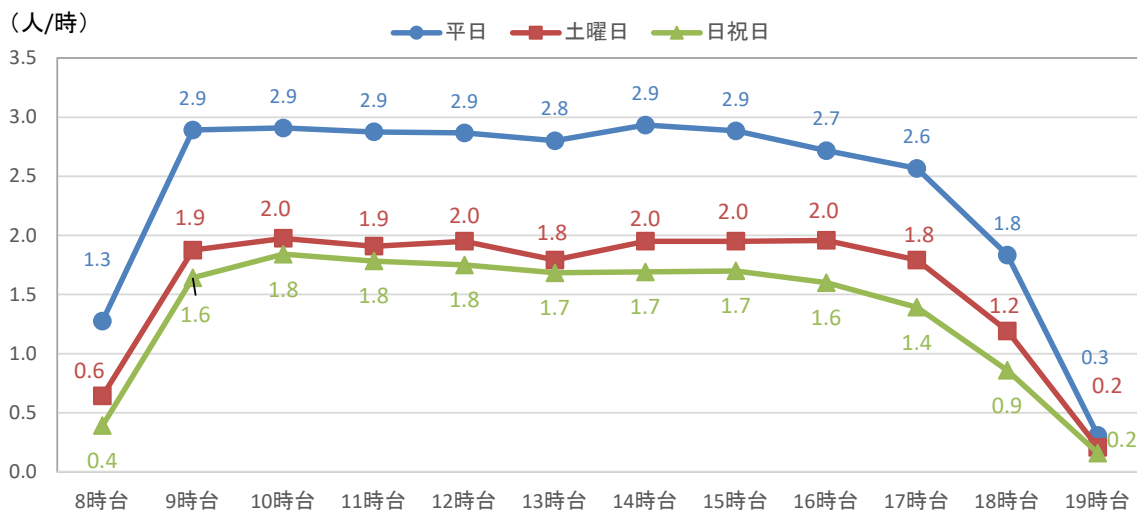


図-8.曜日別時間帯別の利用状況

### 3.6 性別の構成

- 利用者の男女比は概ね3：7となっています。
- 利用者の男女比の推移を四半期ごとにみると、利用者数が増加している10月～12月はやや男性の割合が高くなっています。

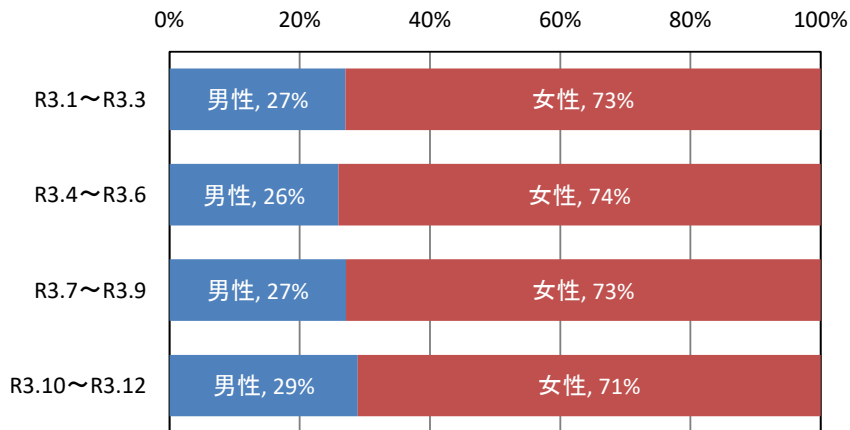


図-9.利用者の性別の推移

### 3.7 年齢構成

- 利用者の年齢構成は、「80～84歳」が31%、「75～79歳」が25%、「85歳～」が20%と高齢者の利用が多く、75歳以上が全体の76%を占めています。

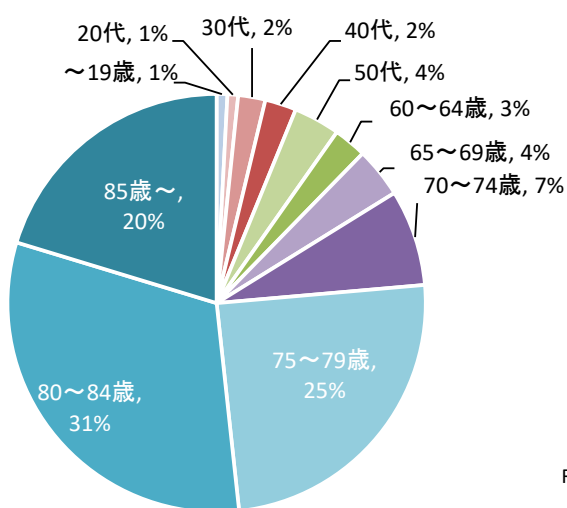


図-10.利用者の年代(R3.1～R3.12)

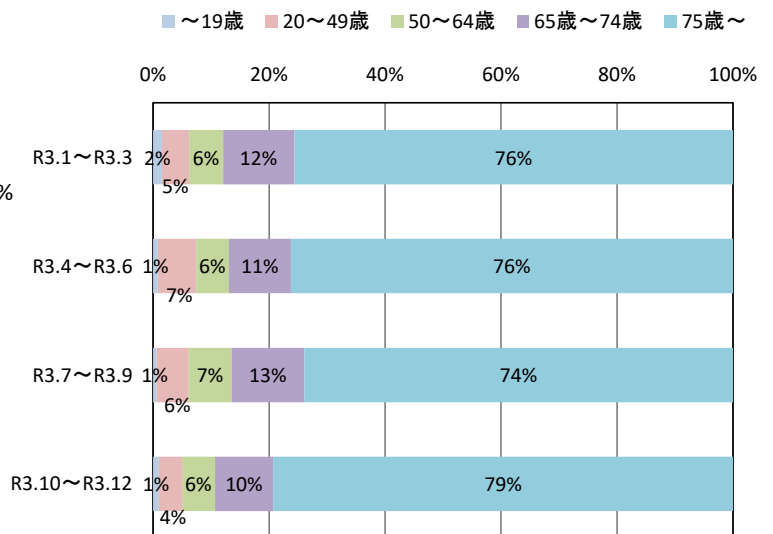


図-11.利用者の年代の推移

### 3.8 市民と観光客

- 市民と観光客の構成比は市民 99%、観光客 1%となっております。
- 1日あたりの観光客の利用者数は、0.7～1.2人/日と推移しており、徐々に増加傾向にあります。
- 同時期の南城市観光客入域者数も観光客利用者と同様の傾向を示しており、約 500 人/日から 66 人/日まで減少した後に 667 人/日まで増加しています。

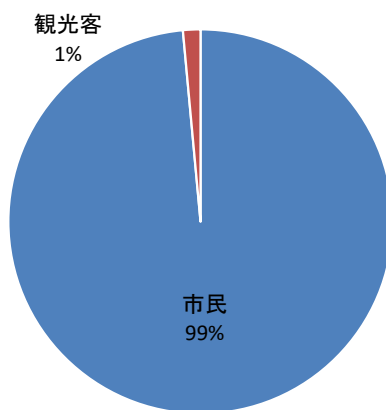


図-12.市民と観光客の構成比 (R3.1～R3.12)

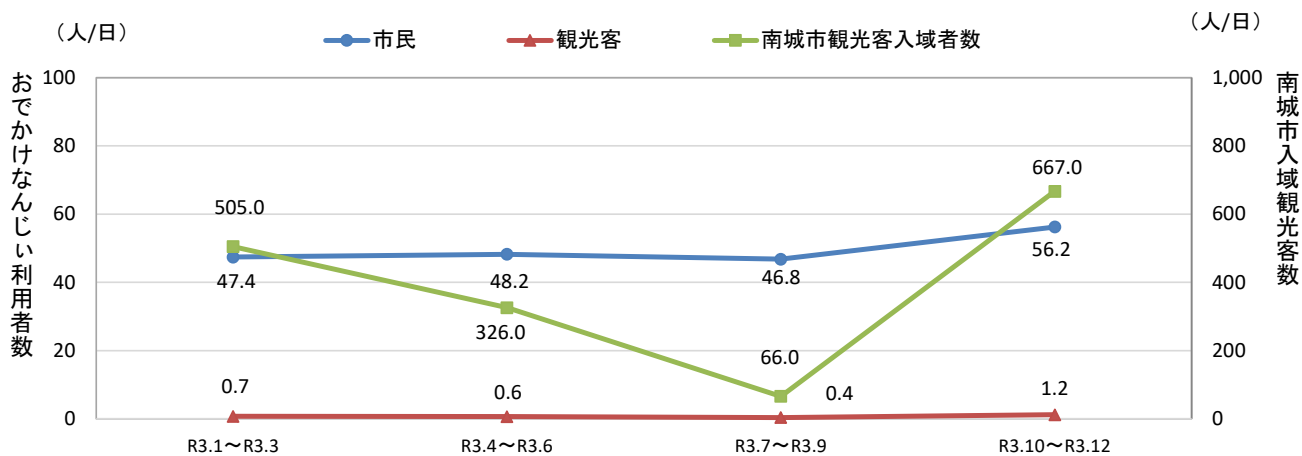


図-13.おでけなんじいの利用者数と南城市入域観光客数の推移

#### 4 令和3年の利用状況のまとめ

- N バスは、利用券と回数券での利用が多く、登下校や通勤・通院などで定期的に利用されているものと思われます。
- 新型コロナウイルスの感染状況が改善された9月以降はNバスの利用が400～420人/日、おでかけなんじいの利用者は55～61人/日まで回復し、再編直後の頃まで利用者数が戻っています。
- 「おでかけなんじい」の令和3年の利用者数は、1月から9月までは利用者数が50人/日前後で推移していましたが、10月以降は利用者が増加し、12月は約61人/日の利用となっています。
- しかし、日祝日の「おでかけなんじい」の利用者の減少は大きく、利用者数が平日の半数にとどまっています。

表 5. 令和3年の利用状況のまとめ

項目	内容
利用者数	<ul style="list-style-type: none"> <li>●公共交通の利用者数は、8月までは270～330人/日程度の利用者数で推移していたが、9月以降は400～480人で推移。</li> <li>●「おでかけなんじい」の利用者数は約50人/日で推移していたが、10月以降利用が伸びており、12月には61人/日の利用があった。</li> </ul>
曜日別/時間帯別の利用状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Nバスは、利用券と回数券利用が多く、全体の8割が利用券及び回数券利用者となっている。</li> <li>●最新の利用状況は平日の利用者400人前後に対し、土曜日、日祝日の利用者数は平日の6割程度で推移。</li> <li>●「おでかけなんじい」は、平日、土曜日、日祝日のすべての時間帯の利用者数が3.0人/h以下と少ない。</li> </ul>
性別の構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「おでかけなんじい」の男性の利用割合が全体に占める割合は27%に過ぎず、依然として女性の利用が多い。</li> </ul>
年齢構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「おでかけなんじい」の利用者の年齢構成は昨年同様、75歳以上が利用者の76%を占める。</li> </ul>
市民と観光客の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「おでかけなんじい」の観光客の利用は、新型コロナウイルスの影響を受け、0.4人～1.2人/日で推移している。</li> </ul>